

第107号
令和4年11月1日発行



発行/室戸市議会
編集/室戸市議会
議会だより編集委員会
住所/〒781-7185
高知県室戸市浮津25-1
連絡先/0887-22-5140
題字/谷 通子



室戸市議会だより



室戸小学校児童 議場見学

令和4年9月第5回室戸市議会定例会 会期・日程

- ### 9月議会 質問者
- 河本 竜二
 - 小椋 利廣
 - 竹中 真智子
 - 堺 喜久美
 - 山本 賢誓
 - 脇本 健樹

月日	曜日	会の種別	摘要	月日	曜日	会の種別	摘要
9月9日	金	本会議	開会・提案理由の説明	9月19日	月	休会	敬老の日
9月10日	土	休会		9月20日	火	休会	事務整理
9月11日	日	休会		9月21日	水	休会	事務整理
9月12日	月	本会議	一般質問	9月22日	木	休会	事務整理
9月13日	火	本会議	一般質問	9月23日	金	休会	秋分の日
9月14日	水	本会議	大綱質疑・委員会付託	9月24日	土	休会	
9月15日	木	休会	委員会	9月25日	日	休会	
9月16日	金	休会	事務整理	9月26日	月	休会	事務整理
9月17日	土	休会		9月27日	火	休会	事務整理
9月18日	日	休会		9月28日	水	本会議	委員長報告・討論・表決・閉会

第5回定例会議決結果一覧表

議案番号	件名	議決年月日	結果
議案第1号	室戸市議会議員及び室戸市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	令和4年9月28日	原案可決
議案第2号	室戸市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	令和4年9月28日	原案可決
議案第3号	室戸市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	令和4年9月28日	原案可決
議案第4号	室戸市地域振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止について	令和4年9月28日	原案可決
議案第5号	令和4年度室戸市一般会計補正予算（第7号）について	令和4年9月28日	原案可決
議案第6号	令和4年度室戸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について	令和4年9月28日	原案可決
議案第7号	令和4年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	令和4年9月28日	原案可決
議案第8号	令和4年度市営室津川団地建替事業建築主体工事請負契約の締結について	令和4年9月28日	原案可決
議案第9号	高知県広域食肉センター事務組合理約の変更について	令和4年9月28日	原案可決
議案第10号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	令和4年9月28日	同意

議案の説明

議案第5号関係 ◎令和4年度室戸市一般会計補正予算（第7号）について

歳入歳出予算はそれぞれ1億7,061万9千円を追加し、総額159億1,211万4千円とするものです。

歳出の主なものは、赤木山畜産団地屋根改修工事費1,623万6千円、観光地駐車場整備工事費350万円、市道維持補修工事費750万円、住宅耐震改修工事費補助金1,950万円、中学校非構造部材耐震化工事費6,952万円の追加等です。

議案第6号関係 ◎令和4年度室戸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について

事業勘定において、歳入歳出予算はそれぞれ16万5千円を追加し、総額25億9,479万9千円とするものです。直診勘定において、歳入歳出予算はそれぞれ532万8千円を減額し、総額6,642万1千円とするものです。

議案第7号関係 ◎令和4年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について

歳入歳出予算はそれぞれ7,018万1千円を追加し、総額24億6,848万5千円とするものです。

議案第10号関係 ◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員に 未 暁士 氏の任期満了に伴い引き続き同氏を選任することに同意するものです。



9月定例会

〈一般質問とその答弁〉

河本 竜一 議員

☆庁舎移転建て替えと
行政情報等の管理に
ついて

問 室戸市は地震や津波によ

る現庁舎の耐震性や被災後の行政機能の継続等が困難であることから、市民アンケート調査を行い、住民説明会の実施をしているが、市民からは「庁舎移転ありきの説明会ではないか。事業費が莫大すぎる。庁舎移転はすでに決まっている。返信用紙一枚の世帯調査では、家族全員の意見が反映されない。」など、市政不信も心配される。十数年後には現庁舎の耐用年数（50年）を迎える。庁舎建て替えの問題は避けて通ることが出来ないため、必ず出てくるが、それに向けて、今から基金に積立てをし、時

答

間をかけて市民調査を行い、しっかりした事業計画を立て、取り組むべきではないのか。今回の移転建て替えは、時期尚早ではないか聞く。

市民の命を守り、市民の生活を守る拠点施設であり、市民の庁舎であると思うと、高台移転が望ましいと考えるが、高台移転は決定した物事ではない。耐震補強対策でよいとする市民や、財政問題をはじめとする様々な問題を心配する市民が多くいる中で、強行はあり得ない。

財政的に破綻や後世に大きな借金を残すことがないようただされている物事に全力で取り組み、令和5年9月議会までに議案提案を目指したいと考えている。

☆羽根小学校・羽根昭和
保育所の高台移転、
室戸中学校高台移転と
市内中学校の統合に
ついて

問

庁舎建て替えより先に「子どもたちの命を守る

答

ため」室戸中学校の高台移転と市内中学校の統合、羽根小学校と羽根昭和保育所の羽根中学校への高台移転を優先するべきではないかとの声を、市民や保護者から多数聞く。特に羽根小学校はすぐ目の前が海といった状況で、保護者の津波への不安は計り知れない。一日でも早く羽根中学校に移転できるよう、どのように取り組んでいるか。

また、高台移転をする室戸中学校への市内中学校の統合に際して、保護者は「子どもたちがつながりのない状態で市内中学校を統合されると学校生活・学年生活・クラブ活動など仲良くやっていけるのか不安です」といった心配する声を聞いている。子どもたちが、よい友達関係を築きスムーズな中学校統合が出来るような計画と取り組みをしていくのか聞く。

答

保育所及び学校適正規模・適正配置基本計画の中に「羽根小学校につい

問

ては、中学校が統合した後、羽根中学校跡地に校舎移転を検討する」「羽根昭和保育所については、高台移転を行う場合は、中学校の統合後に、現在の羽根中学校の運動場に移転できる広さが確保できる」と明記している。室戸中学校の高台移転は、教職員や生徒の安全確保及び中学校統合に関係することも踏まえ、早期に取り組まなければならぬため「室戸中学校高台移転基本計画」を策定し、最優先で取り組みを進めていく。

また、子どもたちがよい関係で統合できるよう、「子どもたちの不安への対応」、「それぞれの学校の歴史や伝統、文化の継承」など、協議し取り組む。

交流については、行事、生徒会の交流、部活動の合同チーム結成、練習や公式戦への出場など交流を進めていく。

小椋 利廣 議員

☆市長の政治姿勢に
ついて

問

室戸市も新型コロナウイルスの感染「第7波」による感染者が増加し、集団感染が起きているのはとの声を聞くが、今後、市民が安全に生活を送るための市の対応を聞く。

答

全国的に新型コロナウイルスの収束が見えない中、本市の感染者数も、本年7月以降、770人を超える規模である。安心して日常生活や経済活動の活性化が図れるよう、市民に基本的な感染対策の徹底を呼びかけ、医療機関・関係機関と連携し取り組んでいく。

問

室戸市庁舎高台移転新築よりも、羽根小学校の高台移転や室戸中学校の高台移転新築計画に伴う4中学校の統合計画が優先ではないか聞く。

答

学校、庁舎とも本市の大切な施設であり、並行



して取り組む課題だと考
える。羽根小学校は、中
学校が統合した後に羽根
中学校の跡地に校舎の移
転を検討する方針があ
る。室戸中学校高台移転
の進捗状況は移転場所の
検討に取りかかってお
り、校舎や付属建物の検
討については、室戸高校
の施設を利用できないか
協議を行っている。今後
も室戸高校との連携を取
り組み、「室戸中学校高
台移転基本計画」を策定
し、早い機会に承認を受
けたいと考える。

問

室戸市庁舎移転新築説明
会は各地域で17回開催さ
れ、合計参加者は230名で
同じ方が複数の地域で参
加していると聞いている
。参加者は市の人口の
2.0%で、アンケート回
答数は2.43%である。市
民へのアンケート調査で
は、現庁舎の耐震改修及
び、高台移転新築の選択
肢がなく、移転新築が前
提の市民不在のアンケ
ー卜なので、庁舎移転の賛
否を問う住民投票を行う
考えはないのか聞く。ま

た植田市長になって借金
である市債の残高が18億
円余り増加して、現在は
142億8500万円余りと
なっている。50億円近い
巨額の予算を使って借金
を増やすより産業振興等
地域の活性化に取り組む
べきではないか聞く。

答

市民との対話や説明が
必要と考えており、住民
投票を行うことは考え
ていない。市債残高は令
和9年度に約175億円と
なる想定をしている。ふ
るさと室戸応援寄附金
等を活用して市債残高
の管理に努め、魅力ある
室戸市をつくるために、
産業振興対策は優先的
に取り組み、将来性のあ
る分野には、積極的に投
資を行う。

室戸市庁舎を高台移転
することで、沿岸部の住
民が高台移転する機会と
なり、新たな街づくりを
推進する一歩になると考
えている。



竹中 真智子 議員

☆市長の政治姿勢に
ついて

問 固定資産税について、県
内34市町村の中で、超過
税率で税金を徴収してい
る自治体が4つ有りその
中に室戸市がいる。昨年
3月議会で羽根岬山上の
メガソーラー発電所が稼
働し、新たな税金が入っ
てき始めた時が標準税率
へ移行していく大きな
きっかけであると問う
た。市長一期目任期の最
後の9月議会で、50年以
上歴代市長が成し得な
かった標準税率への移行
を、どう検討、決断した
か聞く。

答

標準税率への見直し
は、その裏付けとなる財
源の確保が必須条件とな
り、室戸市主要計画策定
本部会議や関係各課と協
議を重ねてきた。自主財
源の強化に努め12月議会
へ提案し、令和5年度課
税分から適用できるよ
う、庁内で調整を進めて

いる。

問 サンゴ船漁について、資
源の枯渇化を防ぐために
禁漁区を決めて増やすた
めの養殖が始まっている
が、室戸市は、サンゴ資
源保護育成の観点から大
変重要と認識している。
具体的支援策を検討して
いくと答えているが、そ
の後どうなったか聞く。

答

NPO法人宝石珊瑚保
護育成協議会に、本市も
会員となっている高知県
漁港漁場協会から令和3
年度に50万円の財政支援
を行っている。なお、本
市からこの協会に令和3
年度負担金53万7千円支
出している。同NPO法
人の取り組みに対し、同
協会を通じた支援が継続
できるよう努める。

問

新庁舎移転建設問題につ
いて、現庁舎の耐震補強
工事は15億9千万円と
聞か、内容はあまり触
れられていない。耐震補
強費は3億2千万円で
きると担当職員から聞い
た。私は、現庁舎を耐震
補強する方を推す。防災
対策課は、現庁舎より外

答

部へ出し、室戸市相撲場
横のこの春できた防災倉
庫の周辺に、防災セン
ターの役目を持つ防災対
策課を移す。現庁舎は、
耐震工事を始めると騒音
や工事の関係で課の使用
面積が狭くなり、工工期
間中は他の場所へ移って
の事務作業をする。室戸
小学校横のNTTビルを
借り業務をすれば、駐車
場も広く現庁舎とも近い
距離に有り利便性がよい
のでは。明日来るかも知
れない巨大地震、大津
波。現庁舎地下に保存さ
れている重要書類等は早
急に浸水や盗難被害を受
けない場所に移す。公用
車も同様で、普段から地
震災害に対応できるよ
う、浸水エリア外へ停め
置く場所の確保は急がね
ばならないと思うがどう
か聞く。

普段から重要書類や公
用車等は、地震災害に備
え、浸水被害や盗難被害
を受けられない場所の確保を
急がねばならないのは議
員指摘の通りである。重
要書類は、3階以上のフ

堺喜久美議員

☆市民の交通手段について

ローアへの移動を行い、移動しきれないものは、外部保管も検討している。市民課の書庫等、業務の性質から現位置よりの移設が困難なものがある。公用車を浸水区域外へ停めるとなると少なくとも室戸勤労者体育センターの敷地まで行くこと等から、日常業務に支障を来す。そうした面から庁舎の高台移転は必要ではないかと考える。

問 部落差別解消の取り組みについて、同和教育と人権教育との違いは何か聞く。

答 同和教育とは被差別部落の人々に対する差別と偏見を撤廃するために行う教育活動。人権教育は様々な人権課題の解決を図り人権が尊重された社会づくりが目的的教育活動。



問 本市の公共交通は、タクシーを除けば東部交通のバス路線しかない。しかし、運行ダイヤは多いところで一時間に一本、料金についても羽根・室戸間で片道770円、佐喜浜・室戸間で片道850円とかなり高く感じる。高齢化率の高い本市の多くの高齢者の移動手段は、危ないと感じながらも車に頼らざるを得ない。市民の足を守るため東部交通に対して「室戸市生活バス路線運行維持費補助金」を支出しているが、補助額と負担割合について聞く。

答 毎年約3千万円、負担割合は、沿線市町村は本市を含め8市町村となっており、沿線市町村の中でも走行距離が最も長い本市の負担割合は約47.3%となっている。毎年、東部交通に対し、

高い補助金で推移するのであれば、市民割をバス料金に適応してはどうか。「室戸市民はバス代半額。」「証明はマイナンバーカードで。」「とすれば、マイナンバーカードの普及とともに市民は喜んでバスを利用するのではないか。また、高齢者の免許証自主返納に後押しできるのではないかと聞く。

問 路線バスの維持にはどの自治体も多額の費用が発生するなど課題も多い。本市にとって東部交通の路線バスは必要不可欠な交通インフラであり、今後も維持していかなければならないと考えている。提案については、高知県をはじめ関係市町村及び交通事業者等で協議を行い、バス利用者の利便性の向上及び路線バス事業への負担軽減につながるよう検討していく。

答

子どもたちの社会性を育てるためにも、地域の公共交通を効率的に活用し維持するため、スクールバスについて検討すべきではないか聞く。また、年間のランニングコストについても聞く。

問

中学校が統廃合されることとなった場合の通学支援については、スクールバスに加え、地域の公共交通を含めた様々な検討が必要となってくる。それぞれの児童生徒にとってよりよい通学支援となるように、地域の公共交通、コミュニティバス等の効率的な活用を含め検討しなければならぬと考えている。年間のランニングコストは、当初予算ベースで小学校が約2175万円、5千円、中学校は約1673万6千円、合計3849万1千円である。

答

平成28年12月に安芸広域市町村圏内の他市町村と連名で「大規模災害時における避難所としての施設の使用及び救援物資の提供に関する協定」を「高知県旅館ホテル生活衛生同業組合東部支部」と締結しており、大規模災害時には、組合に加盟する宿泊施設を避難所として提供していただくよう要請していく。

☆防災対策について

問 コロナ禍における避難所開設には、公共施設のみならず、民間のホテルや旅館等の活用についてはどのように考えているか聞く。

答

本年度から防災コミュニケーションセンターを活用し、地域の方々の意見交換会を検討している。また大学との連携による地域の防災訓練にも取り組めないか協議をしている。

問

被災後、できるだけ早く避難所開設・運営を行うための訓練はどのように取り組んでいるか聞く。

答

被災後、できるだけ早く避難所開設・運営を行うための訓練はどのように取り組んでいるか聞く。



山本 賢誓 議員

☆市政運営全般について

問 市庁舎移転計画について

市庁舎は、室戸市合併以前から現位置周辺が市民に親しまれてきた。起債を借り入れて対応すれば20年間、毎年度6千万円を超える支払いが発生する。後年度負担の大きい新築移転よりも基金を活用した耐震工事、長寿命化工事なら償還が発生しない。また、地震津波対策について多様な判断ができるよう有識者、市民、庁内からのアイデア募集の必要性があったのではないか。今からでも遅くないからそういう手法も検討すべきではないか聞く。

答 庁舎の高台移転は重要である。しかし、市民の一定の理解が得られなければならぬ。アイデアを頂く機会を設けることや頂いた意見を反映させるよう取り組んでいく。

問 室戸市観光協会の使途不明金処理について、平成27年度決算処理の過程において14万4074円の使途不明金が発生している。最終的に原因不明でこの金額を職員2人が自腹で支払っている。不明金を職員の自腹で穴埋めさせる手法が準公共団体、一般社団法人の組織の取るべき解決策であったのか。観光協会定款には使途不明金に関する明記はないが欠損金は理事が連帯責任で支払うべきではなかったか。不当な欠損金処理に当たるとしたら室戸市観光協会と協議のうえ、返還を含む何らかの対応が必要でないか聞く。

答 決算処理前に返済されたため欠損金とはなっていないので返還の必要はない。

問 市道、農道の維持管理について、室戸市の市道、農道の草刈り委託事業には毎年度多額の費用が予算化されている。除草剤散布を委託先常会と協議のうえ、検討してはどうか聞く。

答 作業される方の負担が年々大きくなってきていることは認識している。除草剤散布は作業量の軽減や安価な費用が見込まれ、その効果は大きい。地元常会と協議のうえ、可否を検討する。

答 羽根町新田地区児童公園の維持管理について、公園内の便所修繕については予算化されたが、雑草処理清掃についても予算化が必要ではないか聞く。

答 予算化はしていない。今後もこの関係を続けていければと考えている。

問 防災対策について、震災時食料備蓄場所までたどり着けない方々がいると思うが、そういう事態が想定される集落数、世帯数、住人数を聞く。

答 集落数27地区、世帯数573世帯、人口1062人である。

問 市長の議会への対応について、議会をないがしろにする姿勢が非常に多い。前市長は自身の不祥事は全くなく議会への礼節はしっかり守られていた。植田市長は謝罪や報酬カットも含めた自身の不祥事があまりにも多すぎる。市政のトップとして今後どのように議会と向き合うのか聞く。

答 議会の意見に重きを置き、真摯に受け止め、誠実に向き合う。

問 観光資源への民活導入について、観光資源の少ない室戸市に民活で取り組んでいただく方々がいる。市長はどう対応するか聞く。

答 行動や提案を頂いていることには、できる限りの支援や協力を積極的に行うべきと考えている。

問 室戸市独自の取り組みはあったのか聞く。

答 観光関連では、自然体験型観光交流宿泊施設改修事業、室戸ドルフィンセンター改修事業、海洋深層水体験交流センター改修事業等を実施した。農林水産業関連では、地域林業総合支援事業、特定農産物次期作支援、漁業被害対策資金利子補給等を実施した。

問 令和2年度、3年度の実施事業は75事業、交付金充当額は4億6842万7743円で、令和4年度は17事業で2億5652万6千円を予算計上している。

問 事業をどのくらい行ったのか聞く。

答 令和2年度、3年度の実施事業は75事業、交付金充当額は4億6842万7743円で、令和4年度は17事業で2億5652万6千円を予算計上している。

脇本 健樹 議員

☆地方創生臨時交付金について



医療関係では、電子カルテ導入事業を実施した。また事業者支援として、市内宿泊施設事業者継続支援給付金事業等を

実施した。

☆観光施策について

問 室戸市の目指す観光について、室戸市の観光の核となるのは何か聞く。

答 室戸岬の海岸をはじめとする自然、海洋深層水や備長炭等の資源、古式捕鯨や空海伝説などの文化、そしてインバウンド観光では特に重要視されている人が核になる。

問 以前から観光素材としてジオパークは、「近くにあり珍しくない」などと言われ、観光の目玉としては弱い。市内全体の観光ビジョンを聞く。

答 四国では唯一のユネスコ世界ジオパークであり、観光において十分に目玉となるものである。室戸ユネスコ世界ジオパークには、限りなく取り組むべき可能性があるので、ツーリズム活動を強化し、歴史や未来を情報発信していくことで、他にない特徴ある室戸市の観光基盤を構築できると考えている。観光ビジョンとしては、室戸市

の自然をベースに産業や文化、歴史など資源を活かした誰もが楽しく健康になれる、ウエルネスシティの構築であると考えている。

問 宿泊業者に対して、どのような考えか聞く。

答 ウエルネスツーリズムでは特に、大きく重要な役割があると思われるので、関係者の協力を頂きながら全体的なブラッシュアップにも取り組むたいと考えている。また、観光業における宿泊施設は、核となる施設である。滞在時間の長期化を図る上でも、宿泊施設への支援は必要と考えており、今後においても、充た可能事業や活用事例集を参考に、効果的な事業を検討し、予算要求をしていきたい。

問 世界的に巡礼文化が珍しいと言われている。今後の歴史観光への取り組みについて聞く。

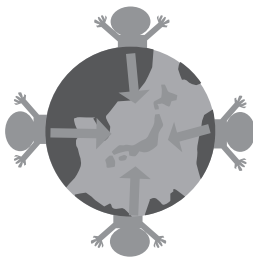
答 お遍路文化はインバウンド対策としても、大変効果の期待できる施策だと受け止めてい

る。室戸市は空海が悟りを開いた聖地と言われており、関係機関と調整の上、観光振興に活かす取り組みを推進したいと考えている。

☆庁舎移転について

問 新庁舎の建設目的の一つは、災害後の対策本部としての機能も兼ね備えた施設のはずだが、庁舎の高台移転の必要性をしっかりと説明できたのか聞く。

答 移転の必要性や財源について説明を行ったが、現状市民に十分な理解は得られていないと受け止めており、時間をかけて市民との対話や説明が必要であると考えている。



総務文教委員会委員長報告（予算）

委員会開催日 令和4年9月15日

付託件数 1件

審査経過及び結果 下表のとおり

■ 議案第5号 令和4年度室戸市一般会計補正予算（第7号）について
 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
まちづくり推進課	2-1-6-1 報酬、 2-1-6-4 共済費、 2-1-6-8 費用弁償、 2-1-6-10 需用費	この予算はコーディネーター1名分か。	小さな集落活性化事業のコーディネーター1名分の予算である。
財産管理課		質疑なし	
保健介護課	2-1-8-22 低所得者介護保険料軽減負担金返還金	この返還金は事業確定によるものか。	前年度の事業費確定による返還金である。
建設土木課	7-3-1-12 河川等維持管理委託料	委託内容と実施場所はどこか。	委託内容は、谷に生えている葎や土砂の撤去である。実施場所は、羽根町の小川谷川、佐喜浜町の山口谷川、室戸岬町の鷲ヶ谷川である。
防災対策課	7-5-1-18 住宅耐震改修工事費補助金	1件当たりの上限額はいくらか。また設計よりも工事の件数が多いのはなぜか。	1件あたり130万円が上限である。設計件数より工事件数が多いのは、既に設計は終えているが、工事が済んでいない方等の分も含めた予算計上を行っているため工事の件数が多くなっている。
市民課	2-3-1-3 時間外勤務手当	予算額はどのように算出したのか。	9月、10月の2か月約40日で、正職1名あたり4時間の時間外勤務手当を5名分計上している。
		要求した理由について聞く。	国のマイナポイント事業と市独自のマイナンバーカード普及促進地域振興券事業が重複し、連日窓口が混雑しており、マイナンバーカードの処理と戸籍の郵送請求等の通常業務が勤務時間内では、対応できないため。
福祉事務所		質疑なし	
学校保育課	9-1-2-10 消耗品費	検査キットの単価はいくらか。また購入後は各学校に配備されるのか。	検査キットは25個入で27,720円である。待機期間終了後に安心して登校してもらえるように、児童の分を教育委員会が準備している。保護者から検査キットの要望があれば、教育委員会にて配布している。
	9-2-1-14 小学校照明LED化工事費	今回の工事で市内の全小学校がLED化されるのか。	今回の工事費は室戸小学校1校分である。
	9-3-1-14 中学校非構造部材耐震化工事費	工事内容と国からの補助について聞く。	佐喜浜中学校の天井や窓ガラス、外壁等の躯体部分以外の耐震化工事である。財源は、補助金ではなく、緊急防災・減災事業債を活用する。事業債のうち70%については交付税措置があると聞いている。
地域医療対策課	4-1-7-27 国民健康保険事業直診勘定繰出金	室戸岬診療所の診療日が10月から週2日になることだが、勤務している職員はどうなるのか。	現在看護師として正職員3名、会計年度任用職員4名を雇用しているが、10月以降は、原則正職員の看護師だけで対応することを予定している。また、診療所での勤務以外に、保健介護課の検診業務等を行うことを想定している。

委員長報告

産業振興課	5-1-3-14 赤木山畜産団地屋根改修工事費	工事の内容について聞く。	主に屋根部分の補修を行い、柱等の躯体部分は既存のものをそのまま利用する。
	5-3-2-10 修繕料	修繕の内容について聞く。	高岡地区のスジアオリ養殖施設の大型冷蔵庫の経年劣化に伴う修繕である。
観光ジオパーク推進課	6-1-3-14 観光地駐車場整備工事費	駐車場を整備する場所はどこか。またその土地は、私有地なのか。	旧郷保育園前の橋を渡った場所の個人所有の土地である。工事内容は、市道の排水路の設置で市道域として土地を提供していただく。駐車場として使用する土地は個人名義のままであるが、確約書を交わし、駐車場として無償で使用させていただく。
		整備後の駐車可能台数は何台か。	16台を見込んでいる。
消防本部	8-1-4-14 耐震性防火水槽新設工事費	耐震性防火水槽の設置場所はどこか。	元地区については、防災コミュニティセンター敷地内である。三津地区については、旧屯所東側である。
生涯学習課	9-4-1-10 修繕料	吉良川のまちなみ駐車場のどの部分の修繕か。	第1駐車場トイレの浄化槽排水管交換にかかる修繕料である。
	9-4-3-7 講師謝礼	図書館3階の展示方法の見直しとのことだが、どのような方法を考えているのか。	現在3階には、鯨資料室、中川雨亭書作品展示室がある。空いたスペースに貝の展示も考えており、専門の学芸員の方に展示方法等のアドバイスをいただく。

総務文教委員会委員長報告（その他）

委員会開催日 令和4年9月15日

付託件数 5件

審査経過及び結果 下表のとおり

■ 議案第1号：室戸市議会議員及び室戸市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
ポスターの掲示場は何か所あるのか。	今年の参議院議員通常選挙は148か所である。	原案可決

■ 議案第2号：室戸市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
育児休業制度は利用されているのか。	令和2年度が6名（うち男性2名）、令和3年度が9名（うち男性1名）、令和4年度が13名（うち男性5名）が育児休業制度を利用している。	原案可決



■ 議案第3号：室戸市職員の退職手当に関する条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
勤務日数要件の改正点について聞く。	現在は、一月あたり18日勤務を12か月継続することで退職手当の支給要件に該当する。今回の改正により、一月あたり平日が20日に満たない年末年始などの月は、20日との差の日数分を18日から差し引いた勤務日数で支給要件を満たすようになり、要件としては緩和される。	原案可決

■ 議案第4号：室戸市地域振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止について

質疑内容	答弁内容	審査結果
基金はいくらか残っているのか。	令和3年度末の残高は0円である。	原案可決

■ 議案第8号：令和4年度市宮室津川団地建替事業建築主体工事請負契約の締結について

質疑内容	答弁内容	審査結果
複数の業者で入札価格や入札評価値が一致するというのは起こり得るのか。	入札評価値は、技術評価点を入札価格で除して算出した数値であり、今回の入札では、入札額・技術評価点ともに同じであった。今後の入札においても同様の可能性はある。	原案可決



産業厚生委員会委員長報告（予算）

委員会開催日	令和4年9月15日
付託件数	2件
審査経過及び結果	下表のとおり

■ 議案第6号 令和4年度室戸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について
審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
市民課	(事業勘定) 1-1-1	システム改修委託料、165,000円に関係する未就学児の対象者数は。	国保加入者の未就学児で、令和4年7月1日現在の対象者数は73人である。
		委託業者と随契をするのか。	運用管理を四国情報管理センターに委託しており、随意契約をすることになる。
		今回、別に随意契約を結び直すということか。	その通りである。
地域医療対策課	(直診勘定) 1-1-1 2-1-2	一般会計繰入金5,328,000円の減額理由は、歳出の報酬の増額分と給料の減額分であるか。	2節給料と3節職員手当等の減額については、常勤医師の退職に伴う給与の減額である。また、その退職に伴い、新たに雇用する非常勤医師の報酬等を新たに計上している。

委員長報告

- 議案第7号 令和4年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について
 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健介護課	5-1-3 (償還金)	返還金の70,181,000円は昨年度より5倍くらいアップしているが、その理由は何か。	施設給付費が昨年度より約1億円程度少なくなっており、それに係る負担金返還分が大半を占めている。

産業厚生委員会委員長報告（その他）

委員会開催日 令和4年9月15日

付託件数 1件

審査経過及び結果 下表のとおり

- 議案第9号：高知県広域食肉センター事務組合理約の変更について

質疑内容	答弁内容	審査結果
高知県広域食肉センターは解散になるのか。	高知県広域食肉センターの一部事務組合は完全に解散する。	原案可決
高知県広域食肉センター一部事務組合が解散した後は、どういう状況になるのか。	県やJAの出資により、高知県食肉センター株式会社を設立し、運営は、JAなどが中心となって行っていくと聞いている。	



閉会中の主な議会活動

- 7月 3 日 第72回芸東消防連合会総合訓練大会に正・副議長及び関係議員出席
- 7月 4 日 室戸市交通安全市民会議定期総会に議長出席
- 7月 5 日 議会運営委員会開催
- 7月21日 令和4年第1回安芸広域市町村圏事務組合議会定例会に議長出席
- 7月22日 執行部とともに、議長が国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所に陳情
- 7月25日 令和4年第2回ごめん・なはり線活性化協議会総会に議長出席
- 7月28日 令和4年度市町村議会議員研修に5名の議員が出席
- 8月 8 日 第141回高知県市議会議長会臨時総会に副議長出席
- 8月24日 総務文教委員会開催
- 9月 5 日 令和4年度第1回国立室戸青少年自然の家利用促進協議会
- 9月 6 日 議会運営委員会開催

定例会の傍聴にお忙しくて
来られない市民の皆様

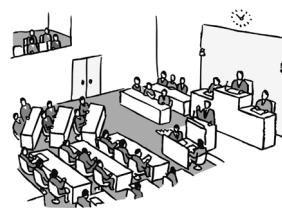
行政の動きがご理解頂けるように編集委員一同、「簡明で判り易い紙面に!」の思いを込めて議会だよりを編集いたしました。

市民が安心して暮らせる郷土を目指し議員一同、より一層の努力をしておりますので、今後共ご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。

(編集委員一同)

議会の傍聴に
おいでください。

次回の
議会定例会は
12月上旬
です。



議会事務局 ☎ 22-5140